

熱海伊豆山土砂災害へ 救護班・こころのケア班を派遣しました



令和3年7月3日、熱海市伊豆山地区の土砂災害発生に伴い、翌7月4日昼過ぎ、日本赤十字社静岡県支部より当院に救護班の派遣要請がありました。これを受け速やかに医師1名、看護師3名、主事2名の計6名による救護班を被災地へ派遣し、避難者収容ホテルにて、医療を必要とする方の診療にあたりました。

また、7月19～21日、7月30～31日にはそれぞれ看護師2名、主事1名によるこころのケア班(※)を派遣し、避難者からの相談に対応したり、避難者のストレス軽減を図ったりする活動を行いました。

なお、日本赤十字社では、「令和3年7月大雨災害義援金」として皆様からの寄付を受け付けております。

(※) こころのケアとは

特別に訓練を受けたこころのケア要員が避難所や地域を巡回しながら、被災者の方々に接する中で、健康や身近な悩みなどをお聞きして、そのお力になれるように支援するとともに、ストレスやその対処などについてお話し、安心感・安全感を築く活動です。



救護班 被災地での情報収取の様子



当院を出発するこころのケア班